

【24 卒】「疑似体験だけどリアル！」トップ学生の評価が高かったインターン 4 選

STUDENTS'REPORT のご提供情報は、独自に組成・運営するトップ学生パネル（レビュアー）から収集しています。

編集部に寄せられる 24 卒トップ学生のインターン評価のうち、今号ではメインプログラムである「ワーク」に注目。

アイデア勝負の新規事業立案型も多く見られますが、学生からは「働くイメージが掴める、より実務に即したワーク」を評価する声が目立ちます。

「現実の仕事体験（職場受け入れ型プログラム）」は現場の負担も大きく、また魅力的な業務ばかりとは言えないもの。かといって、通りいっぺんの疑似体験には学生も飽きています。「疑似体験だけどリアル！」を実現するには、プラス α の工夫が欠かせません。

今回は、その点で特に評価の高かった 4 プログラムを、学生レビュアーの「高評価ポイント」とともに詳しくご紹介します。

冬インターンのピーク期を迎えますが、運営の手直しや、来期のインターン設計などにぜひお役立てください。

ケース（1）キリンホールディングス

「KIRIN INTERNSHIP 2024 ～SUMMER～ マーケティング戦略コース」

<参加概要>

- ・9月3days、オンライン形式
- ・ワーク内容：実際のブランドをテーマに、年間戦略を考える
- ・1日目：企業説明、自社マーケティングフレームのインプット、社員との交流（ランチ）、GW 開始、1on1 面談（個別 FB）、懇親会
 - 2日目：GW 続き、上長に進捗報告（発表）、1on1 面談（個別 FB）
 - 3日目：GW 続き、最終発表、マーケティング部若手社員との座談会、1on1 面談（個別 FB）、懇親会

<ここが高評価ポイント！>

「グループワークの資料は名前を変えているだけですべて本物のデータである、と社員の方々はおっしゃっており、入社してから働いたときとほぼ変わらない状況でのワークである。その分ハードではあったが、業務体験の質としては最高クラスであり、自身も大きく成長することができた」

「（発表では）実際に我々が KIRIN の社員である、と見なしていただいてレベルの高いフィードバックをいただいた」

「懇親会や交流会などで社員の方々と関われる機会も多く、企業理解も大きく深まった」

「（改善点は）強いていえばオンライン開催であったこと。対面であればより強い手触り感のあるプログラムであっただろう。しかしこれは大きな問題ではなく、オンラインでも十分に魅力的なインターンシップであった」

ケース（２）トヨタ自動車

「自動車業界の仕事体感ワークショップ Global Impact」

<参加概要>

- ・ 11 月 1day、オンライン形式
- ・ ワーク内容：参加者を 3 つの会社に分け、さらに 1 社につき 6 部門にグループ分けを行い、事業計画を立案、利益を競う
- ・ 概要説明、グループ分け・自己紹介
GW（40 分、35 分、30 分）
- 結果発表、参加者同士の振り返り、フィードバック、社員質問会

<ここが高評価ポイント！>

「ワーク内容が参加者間で競い合わせ、かつ意思決定の結果がすぐに数値によって表された。ゲーム感覚でワークに取り組めただけでなく、自分たちの選択が業績にどのように影響したのかを知ることでワークごとに戦略の見直しを行えたのが、新鮮だった」

「ワークではインターン用の HP を用いて、資料を読んだり、意思決定を行ったりした」

「振り返りに重点が置かれていた。トヨタの“仕事の特徴”と“求められる能力とは？”というお題をもとに、施策を通して何を学んだかを言語化し、共有する時間を 30 分以上設けており、企業理解が進んだ」

「参加者のレベルが高かった。部門内だけでなく 6 部門の足並みを揃えることが求められるワーク内容であったが、配属部門、会社ともに参加者が積極的に発言し、かつ時間内に合意形成をすることができており、抽選で選ばれたとは思えないほど議論慣れしていて煩わしさを感じなかった」

ケース（3）みずほフィナンシャルグループ

「Story of Banker」

<参加概要>

- ・11月1day、オンライン形式
- ・ワーク内容：入社半年の若手行員の仕事ぶりや成長をドラマ仕立てにした動画を視聴し、顧客課題に対する解決策を考える

・業界・企業説明

動画視聴とワーク

ストーリー1・2→個人ワーク（顧客の課題抽出、解決策の提示）、発表、解説

ストーリー3・4→GW（顧客の事業戦略の決定）

ストーリー4 続き→GW（具体策の決定）、発表、全体解説、振り返り

社員交流会

<ここが高評価ポイント！>

「動画視聴で法人 RM の働きを知ることができた。ドラマ仕立てのため脚色は当然あると思うが、顧客企業の本社だけでなく工場まで足を運ぶことや、経営者だけでなく他の社員からも話を聞くなど初めて知ることが多かった」

「（自社の）事業課題を発見したり、大きな戦略を考えるワークより、よっぽど入社後のリアルな働き方をイメージできた」

一方、改善点も…

「最後のグループワークの内容が少々難易度が高い。参加者の独創性を見たかったのだろうが、時間制限や参加者のレベルを考慮して、提供できる手法などは数種類に限定したものにしておしかった」

「動画選考が含まれる割に、参加者のレベルがそこまで高くない」

ケース（４）川崎重工 「2days インターンシップ PRIDE」

<参加概要>

- ・10月2days、対面形式（神戸本社） ※1day 予選会から選抜
 - ・ワーク内容：営業、調達など機能別にグループに分かれ、プラントを納期までに完成させる
 - ・1日目：全体説明、チームビルディング（事前の性格診断のスコアを利用。チームごとに自己紹介と個人目標・チームでのルールを決定）、ワーク説明、ワーク2種（個人、グループ）、最終GW開始
 - 2日目：最終GW 続き、ワーク解説、座談会とグループFB（休憩中にメンバー同士でFB）
- ※司会進行は支援業者が担当

<ここが高評価ポイント！>

「実際のケースを基に作っているワークだったため自分がメーカーの事務系社員として働く際の想像がしやすかった」

「川崎重工が求めている人材をしっかりと理解できた」

「学生のレベルが全体的に高く、学生同士のフィードバックがあったため今後の就活に役立つ情報も聞けてよかった」

一方、改善点も…

「社員からのフィードバックも欲しかった」

「社員との交流が少なく、社風などを感じ取ることは難しかった」